



賢治メルヘンの街・花巻 ガイドブック



花巻商工会議所
(賢治・星めぐりの街づくり推進協議会)

はじめに

この小冊子を手に賢治の時代にタイムスリップして、花巻の街に賢治メルヘンの舞台を探ってみましょう。花巻の生んだ作家宮沢賢治は、童話、詩、短歌をはじめ多彩な作品を数多く遺しました。この小冊子では、そのなかで花巻の街を舞台にした一般的には童話と呼ばれている散文作品をとりあげます。

「風の又三郎」のような高原を描いた作品などから賢治は山野を描いた作家と思われがちですが、町を舞台にした作品も実は多いのです。しかも賢治は生まれてから小学生時代までと高等農林卒業後亡くなるまで、花巻に住みました。そうそう中学卒業後高等農林入学までの青春の惑いの一年も花巻で過ごしました。ですから賢治は、花巻に根を下ろし、花巻で作品を育て、実らせたのです。

有名な作家はほとんどがいわゆる中央で仕事をしたのに対し、賢治は花巻で創作活動を続けました。したがって彼の発想の原点は花巻にあるのです。

この小冊子には、花巻の街歩きと賢治の時代の記録などから得られた新しい見方で、賢治メルヘンを読み解き、その舞台を探りました。そのため、従来の説とは違う点が多くなり、とまどう方もおられることだと思いますが、この小冊子を手に、街をゆく「花巻人・賢治」の心とまなざしを偲んでいただきたいと願っております。なお、賢治作品の引用は原則として『新校本 宮澤賢治全集』(筑摩書房)に依りました。原文尊重の立場から、同全集に従い、旧仮名遣いのまま引用しましたことをご了承ください。

この小冊子の構成は、ほぼ下の図の範囲を時計回りに、平成22年度に作成した「賢治・星めぐりの街花巻」のマップリーフレットに示した「星めぐり大回りコース」のルートに従って、童話の舞台をめぐる構成にしました。

さあ、花巻の街にきらめく星のような賢治童話の原石を探してみましょう。

米地文夫

(賢治・星めぐりの街づくりフォーラム講師・岩手県立大学名誉教授)

ガイドブックの範囲



目 次



明治中期頃の上町の風景『写真集明治・大正・昭和花巻』より
賢治が生まれた頃の写真です。

	頁
はじめに	2
目次	3
(1)「シグナルとシグナレス」と花巻駅付近	4
(2)「月夜でのんしんばしら」と花巻駅付近	5
(3)「猫の事務所」と郡役所跡	6
(4)「猫の事務所」と鳥谷ヶ崎停車場跡	7
(5)「イーハトーボ農学校の春」と稗貫農学校跡	8
(6)「山地の稜」と瀬川鉄橋跡	9
(7)「めくらぶだうと虹」と「マリブロンと少女」と四ッ角山	10
(8)「四又の百合」と花巻城址	11
(9)「イギリス海岸」と小舟渡河岸	12
(10)「銀河鉄道の夜」と白鳥の停車場	13
(11)「銀河鉄道の夜」と朝日橋	14
(12)「銀河鉄道の夜」と北上川・瀬川旧合流地点	15
(13)「黒ぶだう」と旧菊池捍邸	16
(14)「銀河鉄道の夜」と旧菊池捍邸	17
(15)「祭の晩」と御旅屋	18
(16)「黄いろのトマト」と御旅屋	19
(17)「注文の多い料理店」と精養軒跡	20
(18)「銀河鉄道の夜」と時計店跡	21
(19)「銀河鉄道の夜」(初期形)と賢治の広場	22
(20)「銀河鉄道の夜」と電気会社跡	23
(21)「税務署長の冒険」と税務署跡	24
(22)「毒もみの好きな署長さん」と花巻警察署跡	25
(23)「銀河鉄道の夜」と小学校跡	26
(24)「銀河鉄道の夜」と活版所跡	27
昭和初期の花巻中心市街地とその周辺	28
現代の花巻中心市街地とその周辺	29
宮沢賢治関連年表	30
おわりに、参考資料・文献	31
賢治・星めぐりの街 Q&A	32

(1) 「シグナルとシグナレス」と花巻駅周辺



シグナルは東北本線(在来線)のシグナルで、若様と呼ばれる名門の青年のように描かれ、シグナレス(シグナルを女性風にした名前)は岩手軽便鉄道花巻駅付近に立ち、二本いや二人は恋人でした。身分違いの恋に悩む二人は、天空の環状星雲をエンゲージリングに見立てて愛を誓います。

童話にしては熱烈な？愛の物語ですが、実はこの童話が新聞に掲載された大正十二年は岩手軽便鉄道をその当時の東北本線と同じく国有化してもらいたいという運動の最中でしたから、それを童話化したものいえます。



岩手軽便鉄道花巻駅跡の石標



岩手軽便鉄道花巻駅ホーム『国有記念岩手軽便鉄道』より(花巻市博物館蔵)



なはんプラザ北面の
からくり時計銀河ポップ



賢治ゆかりの林風舎



もう一言

国有化が実現したのは昭和11年です。賢治はその3年前に亡くなっていますので、シグナル夫人となったシグナレスは見ることができませんでした。

(2) 「月夜でのんしんばしら」と花巻駅付近



この童話は、鉄道線路わきの電信柱たちが、兵隊となって歩き出すという幻想的な物語です。大きな城のようにみえる駅の近くの話で、主人公の少年は電気会社のある町に住むということですから、盛岡か花巻がモデルですが、盛岡ならば賢治は常に「市」と書きますので、町は花巻です。電信柱は工兵、竜騎兵、擲弾兵(てきだんへい)全部で15,000人の兵隊として登場しますが、これは弘前師団の人数とそれを構成する工兵、騎兵、歩兵を表しています。花巻での工兵や騎兵の演習を「銀河鉄道の夜」や「イギリス海岸」にも書いています。この工兵や騎兵は弘前師団に属していますが、盛岡に駐屯しており、花巻が主な演習地の一つでした。



賢治が自ら描いた
「月夜でのんしんばしら」
(宮澤賢治 画 宮澤清六
彩色「月夜でのんしん
ばしら」林風舎)



現在のJR花巻駅前、右端の林立する白いポールは「風の鳴る林」。上端に風車があり、音楽が流れ、賢治作品のイメージを伝えます。



花巻小学校前にある
モニュメント

もう一言

賢治は、ドッテテ ドッテテ……と行進する軍歌や、電信柱の兵隊の絵などを自作で残しています。思い入れの強い作品(『注文の多い料理店』所収)だったのですね。北に進軍するのは、当時(大正10年)盛岡の工兵隊がシベリアに派兵されることが決まっていたことを踏まえているようです。





(3) 「猫の事務所」と郡役所跡

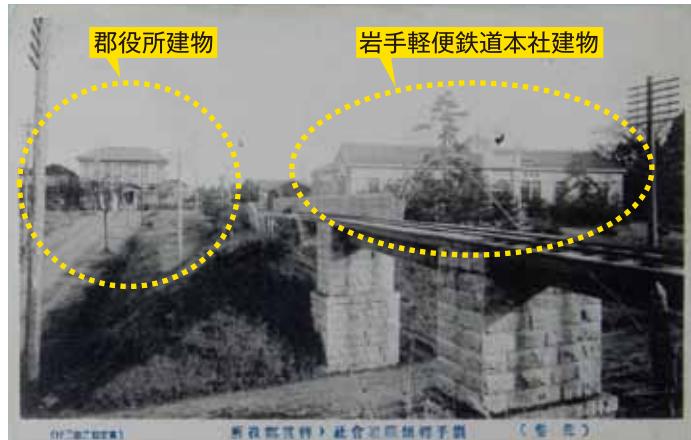
「軽便鉄道の停車場のちかくに、猫の第六事務所がありました。ここは主に、猫の歴史と地理をしらべるところでした。」と始まる「寓話 猫の事務所」は稗貫郡役所がモデルで停車場は岩手軽便鉄道鳥谷ヶ崎(とやがさき)駅です。現在は、郡役所のあったところに岩手県合同庁舎が建ち、当時の建物は市内大迫町に移築され活性化センターになっています。

物語は事務所の書記である「かま猫」(かまどの中で寝るため、黒く汚れている猫)が同僚にいじめられますが最後に獅子が現れて、その状況をみて解散を命ずるということになります。

本物の郡役所はすでに役割をほとんど終えており、浜口内務大臣が最終的に大正15年廃止を決めました。のちに首相ともなった浜口雄幸(おさち)は、ライオンのあだ名で人気があり、これを素材にしたのです。



郡役所跡には岩手県の合同庁舎が建っています。



絵はがき 岩手軽便鉄道と稗貫郡役所「絵はがき花巻関連」3点の内
(花巻市博物館蔵)



当時の「稗貫郡役所」絵葉書
(岩手県立図書館所蔵)



もう一言

獅子は花巻地方の神楽の権現様も意味しています。家々のかまどで火伏せの舞をする権現はかまどの獅子でもあり、かま猫すなわちかまど猫の守り神でもあるのです。



(4) 「猫の事務所」と鳥谷ヶ崎停車場跡

「猫の事務所」のモデルが“稗貫郡役所”であることは「軽便鉄道の停車場のちかくに」という書き出しで分かりますが、実は原稿の段階では“アフリカの大きな野原のまんなかに”と書いてあります。賢治はライオンこと浜口内相を連想させるように、アフリカの草原にしようとしたのかもしれません。この駅は岩手軽便鉄道本社前につくられていきました。

岩手軽便鉄道
「鳥谷ヶ崎駅」跡の石標と詩碑

盤面には、賢治の詩「岩手軽便鉄道七月(ジャズ)」の一部が紹介されています。



石標の前の街並み



「岩手軽便鉄道株式会社本社」大正14年花巻・遠野間全通式
(花巻市博物館蔵)



もう一言

賢治は「停車場」という語を用い、駅とはほとんど書いておりません。そういえば駅という言い方が一般的になったのは戦後のことで、“ティシャバ”という響きは不思議に郷愁を誘いますね。

(5) 「イーハトーボ農学校の春」と稗貫農学校跡



太陽マジックの歌を歌いながら、稗貫農学校の生徒たちは学校の下肥を汲み取り、天びんでかついで実習地へと急な坂道を下り、畑に着いたらヒシャクで麦に下肥をかけ、帰りは坂を上ってゆく、という話です。

太陽も下肥も金色に輝き、辛く汚い作業のはずなのに春の陽光のもとの明るい情景として描いています。



稗貫農学校跡に立つ総合花巻病院



稗貫農学校実習地跡の石標



今も残る急な坂道



「稗貫郡立養蚕講習所」
『写真集明治・大正・昭和花巻』より



実習地跡方面から農学校のあった方向を望む



もう一言

稗貫農学校の前身は郡立養蚕講習所でしたので、クワッコ(桑ツコ)大学というアダ名で呼ばれていました。

賢治の勤めている間に、県立に昇格し、今のぎんどう公園の所に花巻農学校として新築校舎が建ち移転しました。「毒蛾」という作品では、このアダ名を逆手にとった「コワック大学校」が登場します。



(6) 「山地の稜」と瀬川鉄橋跡

稗貫農学校付近から小舟渡方面に歩いてゆく賢治が、途中で目にしたものをスケッチ風に書いたものです。近道するために危険な岩手軽便鉄道の瀬川にかかる鉄橋を渡ります。花巻の景色や人々の姿が生き生きと描かれていますが、話のなかの鉄橋も線路ももうありませんし、賢治が道であった女性の話す次のような美しい方言もほとんど聞かれなくなりました。「まんつ見申したよだと思つたへば、豊沢小路(としゃこうじ)のあいなさんでお出やんすた。おまめしござんしたすか」



岩手軽便鉄道 瀬川の鉄橋跡の石標



瀬川鉄橋を渡る岩手軽便鉄道車両
(宮沢信一郎 撮影「岩手軽便鉄道」林風舎)



もう一言

この「山地の稜」は、初期短編と呼ばれる小品の一つで童話ではありません。題の「山地の稜」は遠くに見える薬師岳の稜線についても書いているところからつけられたものです。

(7) 「めくらぶだうと虹」と「マリブロンと少女」と四ッ角山



「その城あとのまん中に、小さな四ッ角山があつて、上のやぶには、めくらぶだうの実が、虹のやうに熟れてゐました。」(「めくらぶだうと虹」)そのメクラブドウ(ノブドウ)は、虹に向かってあなたは高く光の空にかかり、皆はあなたをほめると虹を讃えます。このメクラブドウの話は、同じく四ッ角山で少女が有名な歌手マリヴロン先生を讃える「マリヴロンと少女」に改作されます。

「四ッ角(シッカク)山」は、花巻城址にあった四角(シカク)山のことです。花城小・花巻小の往時の卒業生にはなつかしい、小学校の校庭にあった小さな丘です。四角なのは花巻城の鐘楼の跡だからで、今はかつての大手門付近に四ッ角山(四角山)もその上の鐘楼も復元されています。



復元された四ッ角山(四角山)・鐘楼



四ッ角山(四角山)跡の標柱



もう一言

めくらぶどうや少女は、かつて中学校卒業直後の賢治が四ッ角山(四角山)で、大きな夢と現実とのはざまで悶々としていた姿を映しています。結局、花巻をほとんど離れずノブドウのように生きた賢治ですが、彼の作品は虹のように天空高く輝いたのです。



(8) 「四又の百合」と花巻城址

「正徳知はあしたの朝の七時ごろヒームキャの河をおわたりになってこの町に入らっしゃるさうだ。」とハームキャの城の人々が語り、その正徳知(悟りをひらいた方・しょうへんち)を迎るために城の王さまは百合を捧げようと大臣に用意を命じます。大臣は子どもが百合を持っているのをみて、買おうとしますが、子どもは自ら正徳知に四又の百合を捧げるという話です。

ハームキャが花巻、ヒームキャの河は北上川がモデルです。正徳知が東から来られるというのは、遠野に住んでいた旧城主南部氏の末裔である日実上人が、花巻に教えを広めたことと、ブッダがかつてインドで河を渡り、王に教えを説いたことを重ねあわせたものです。ハームキャ城は花巻城址の位置にあるとイメージしたのでしょう。



花巻城址(復元された西御門)



花巻城址のお濠



花巻城本丸跡から北方の眺望



もう一言

賢治は花巻に日蓮宗の法華堂を建てるための勧進文を書いていますが、そこには日蓮在世時からの遠野南部家との深い縁や日実上人のことなども書かれており、文中に「正徳知」という言葉も出てきます。



(9) 「イギリス海岸」と小舟渡河岸



イギリス海岸「写真提供:花巻観光協会」



教壇に立つ賢治が説明しているのは花巻の地質断面図
(宮澤賢治 肖像写真 教壇 林風舎)



賢治が発見したクルミの化石(オオバタクルミ:尖ったギザギザがある。)
(バタグルミ 林風舎)

もう一言

イギリスの海岸に似ているばかりではなく、「スキーーデンの峡湾」すなわちフィヨルドに似ているとか、化石を発掘する様子はイタリアのポンペイのようだと書いています。賢治と生徒たちは、世界のあちこちに見立てて、この河岸の景観を楽しんだのです。「ある農学生の日誌」にもこの河岸が登場します。

「夏休みの十五日の農場実習の間に、私どもがイギリス海岸とあだ名をつけて二日か三日ごと、仕事が一きりつくたびに、よく遊びにいった所がありました。」とはじまるのが「イギリス海岸」という題の文ですが、今では、あだ名のはずのこの名が、すっかり有名になって文科省の名勝になってしまい、その名で通るようになりました。

イギリスのドーバー海峡の白い岩と同じ岩石だからという人がいますが、実は向こうの風景をミニチュアにすると似ているというだけで、岩の種類も時代も全く違います。

この文には賢治と生徒たちが地質・地形や化石を調べたり、泳いだり、騎兵の演習をみたりした様子が、いきいきと描かれています。



イギリス海岸遊歩道と石標





(10) 「銀河鉄道の夜」と白鳥の停車場

「イギリス海岸」は「銀河鉄道の夜」の中では銀河のほとりの「プリオシン海岸」として登場します。イギリス海岸を東北帝大早坂助教授が訪れ、化石採集を行ったことをモデルにした話をプリオシン海岸のエピソードにしました。

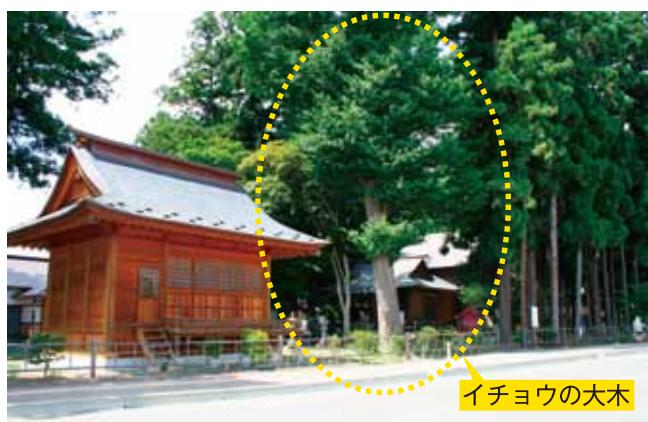
花巻は地上のジョバンニの街のモデルであるばかりでなく、天上の銀河のほとりのモデルにもなったのです。でも、もともと岩手軽便鉄道が銀河鉄道のモデルなのですから当然かもしれません。そのプリオシン海岸へは、ジョバンニたちが、白鳥の停車場で途中下車して行ったという話になっています。その白鳥の駅の停車場前にはイチョウの木があるといいますから、小舟渡八幡宮のイチョウの付近に駅があると賢治は考えたのでしょうか。プリオシン海岸での大学士の原牛(ボス)化石の発掘を見学して、二人はまた列車に戻ります。駅名はもちろん星座からの命名ですが、本物の白鳥がイギリス海岸付近に飛来することもあります。プリオシンとは地質時代の名(鮮新世)です。



創作された「白鳥の停車場」(駅名は横書き、旧かな)



白鳥の停車場の地面の白鳥座のモザイク



小舟渡八幡宮

もう一言

イギリス海岸のバス停留所は、小舟渡八幡宮のイチョウの近くにあります。このバス路線はかつて岩手軽便鉄道の路線だったので、この停留所に白鳥の停車場を創り、賢治世界への入口の一つにしております。





(11) 「銀河鉄道の夜」と朝日橋

銀河鉄道の夢からさめたジョバンニは、母親のために牛乳を受け取り家へ急ごうとします。「……みちは十文字になってその右手の方の通りのはずれにさっきカムバネルラたちのあかりを流しに行った川にかかった大きな橋のやぐらが夜のそらにぼんやり立ってゐました。」という、この大きな橋のモデルは朝日橋で、昭和7年に完成しました。この文章は、賢治が最後に書いた部分に含まれますから、時期的に矛盾しませんし、工事は長くかかっていましたから賢治は工事中にも見ているでしょう。北上川にかかるこの橋はワーレントラス橋と言って、鉄骨でやぐらを組んだみたいな外観を持っています。かけかえ前の朝日橋が、欄干のついた昔ながらの木橋だったので、新橋の鉄骨のやぐらが特に目立ったのです。

「ぼんやり立って」いたという表現に、ジョバンニの心にきざした不安感、悲劇の予感のようなものが感じられますね。橋に近づくにつれて、それは的中し、人だかりがみえ、人々は子供が水に落ちたと話しているのでした。

ワーレントラスなどトラス橋といわれる三角形を組み合わせたやぐらのような橋は、ヨーロッパで生まれ世界中に拡がりました。ジョバンニの街が欧米風なので、賢治はこの橋を物語に入れたのです。



木橋だった瀬川橋と
朝日橋
絵はがき
朝日橋開通記念
スタンプ印
「明治43年8月6日」
(花巻市博物館蔵)



完成当時の朝日橋 絵はがき 朝日橋開通記念
昭和7年12月落成式(花巻市博物館蔵)



現在の朝日橋(左端が旧瀬川橋)

もう一言

賢治の時代には、朝日橋のすぐ手前に、支流の瀬川を渡る瀬川橋がありました。今は瀬川はもっと上流で合流するようになりました。

しかし、瀬川橋は今でも残っており、旧瀬川橋と呼ばれています。





(12) 「銀河鉄道の夜」と北上川・瀬川旧合流地点

「ジョバンニは橋の袂(たもと)から飛ぶやうに下の広い河原へおりました。(中略)川原のいちばん下流の方の洲のやうになって出たところに人の集まりがくっきり、まっ黒に立ってゐました。」と物語は、最後の場面を迎えます。ジョバンニはそこでカムパネルラのお父さんに会います。下流の方の銀河がいっぱいに映った川面が、銀河の彼方に消えたカムパネルラの運命を暗示しているような、美しくも悲しい光景が描かれています。

朝日橋のたもとから下流側へ降りると、当時は、北上川と瀬川の間に合流点まで細長く洲のようにのびた川原がありました。その橋に、カムパネルラを捜索する人々が集まっていたということなのです。



瀬川と北上川が合流していたころの地図(複製)

→ ジョバンニがかけつけた道

✗ カムパネルラの捜索現場



現在の旧瀬川橋と朝日橋



もう一言

普通、北上川岸からは横から見る形になり、川の下流部に重なるように映る天の川を見るのはむずかしいのですが、旧合流点からならば、正面に南流する北上川とそれに映る天の川を見ることができたのです。

(13) 「黒ぶだう」と旧菊池捍邸



仔牛が狐に誘われ、林の中のベチュラ公爵の別荘に行き無人だったので、「赤狐はわき玄関の扉のとこでちょっとマットに足をふいてそれからさっさと段をあがって家の中に入りました。仔牛もびくびくしながらその通りしました。」それから二匹は一階の各室を順にみたのち、二階にゆき、黒ブドウをみつけ、狐は甘い汁だけ吸って皮と肉と種は吐き出しました。狐にすすめられ仔牛は種まで噛み碎いて食べます。そこへ公爵と客の伯爵たちが帰ってきたので狐はバルコニーから逃げます。残った仔牛は叱られもせず伯爵の娘から黄色いリボンを結んでもらいます。

この「黒ぶだう」の物語の舞台である別荘のモデルは御田屋町の旧菊池捍(まもる)邸です。洋風ですが元士族の家らしくわき(脇)玄関があります。本玄関は特別な客や行事の時しか使いません。このようなわき玄関をもつ洋館は、他には考えられず、この菊池邸をモデルにしたと推定する根拠となりました。

仔牛が種まで食べたのは、捍氏が当時、北海道の甜菜から甘い液をしぶって砂糖を作る工場の責任者として赴任中で搾りかすは牛の飼料にしていたことを踏まえた話なのです。菊池捍邸は、賢治童話のモデルの建物が元の場所にそのまま現存している珍しい例です。



旧菊池捍邸、正面ほぼ中央に本玄関の屋根が見える。脇玄関は左側にあり、正面からは見えない。



旧菊池捍邸の脇玄関



もう一言

旧菊池捍邸の現在の所有者は盛岡の本間博氏で保全や文化的な利用に深い理解をお持ちです。この建物をめぐっては、「黒ぶだう」関係では島崎藤村との関係の問題があり、また秩父宮や高村光太郎らの訪問など話題が豊富です。



(14) 「銀河鉄道の夜」と旧菊池捍邸

旧菊池邸は「銀河鉄道の夜」のカムパネルラの家のモデルであったかもしれません。カムパネルラやそのお父さんの描写には菊池捍とその子息たち（その一人は賢治の弟宮澤清六氏の友人でした）と関わるようなことが沢山あるからです。

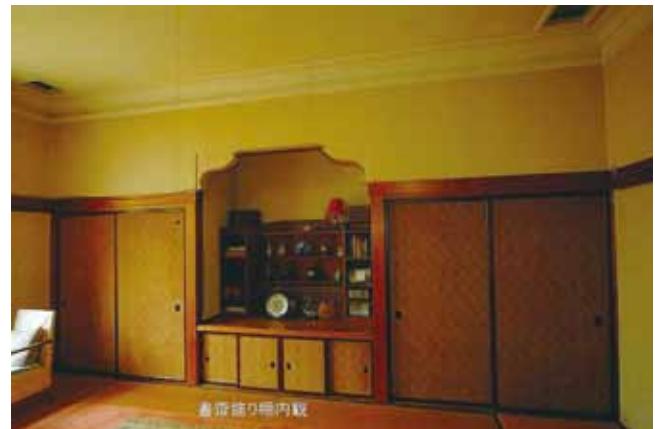
カムパネルラという名前は「太陽の都」という古典的名著を書いた人の名から取ったといわれていますが、その理想郷太陽の都はタブロバーナ島にあり、そこは今のスマトラ島だというのです。そのスマトラ島に捍氏は仕事で住んでいました。当時の菊池家はカムパネルラの家と同じく犬を飼い、書斎を持ち、百科事典を揃えていた、など共通点が多く、さらに捍氏は絵が上手で特に水車の絵を巧みに描き（このことは初期形にあります）時間に厳格で、いつも時計をみて時刻を確かめていた、など「銀河鉄道の夜」のカムパネルラやその父親の描写と偶然の一致にしては話が合いすぎます。



菊池 捍(まもる)
1870(明治3年)-1944(昭和19年)
花巻市出身、札幌農学校（現北海道大学農学部）卒業、専門は家畜学、札幌農学校助教授を経て農学校教諭、校長を経て技師、工場長、重役を歴任。



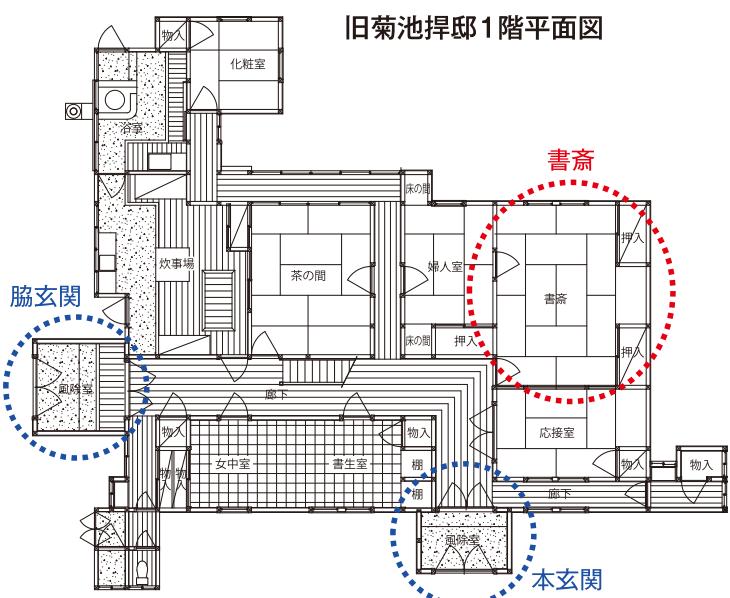
佐藤 昌介
1856-1939(安政3-昭和14)
花巻市出身
菊池捍夫人“淑子”は北大学長佐藤昌介の妹です。
賢治は、大正13年生徒を引率して北海道修学旅行を行い、北大で生徒と共に佐藤学長の講話を聞き、感激しました。



旧菊池捍邸書斎、当時の花巻で和洋折衷の書斎を持つ家は珍しかったのです。

もう一言

賢治が教養の高い知識人の家庭を描こうとしたとき、身近な菊池一家を主なモデルしたのではないでしょうか。捍氏は花巻農学校の昇格にも協力し、農学校の教師たちとも交流がありました。カムパネルラの水死のような悲しい出来事は起こりませんでしたが妻淑子（佐藤昌介の妹）は病気で早逝しました。捍（まもる）氏は、花巻の人からキクカン（菊捍）さんと呼ばれていました。菊池カンパネルラだったのでしょうか？





(15) 「祭の晩」と御旅屋

「山の神の秋の祭りの晩でした。亮二はあたらしい水色のしごきをしめて、それに十五銭もらって、お旅屋(おたびや)にでかけました。」と童話「祭の晩」は始まります。亮二は「空氣獣」という見世物を見たあと、山男が団子の代金を払えずにどなられている所にいあわせ、金を渡して助けました。その晩、亮二の家の前には山男が礼として持ってきた薪や栗が沢山置かれていたのでした。

この話は賢治の家の近くの東町にある御旅屋(おたびや)という広場がモデルでしょう。祭りの間、御輿すなわち御神体が神社を出て、この広場を宿とするのです。そこに露店や見世物小屋も集り、にぎわいます。山の神のお祭りとしたのは、山男を登場させるための伏線で、物語のお旅屋は多くの掛小屋のある所からみて、東町のそれがモデルでしょう。

賢治は山男の出る作品をいくつか書いていますが、素朴で、たくまざるユーモアのある魅力的なキャラクターとして描いています。山男もどこかデクノボー的なのです。



御旅屋(昔に較べ狭くなっている)に残る鳥谷崎神社の石標



当時御旅屋の前には、朝日座(劇場)があった。



もう一言

御旅屋は全国的には「お旅所(おたびしょ)」と呼ばれることが多いのですが、どこでも都市化が進むと消えてしまうことが多く、ぜひ花巻の御旅屋は残してもらいたいものです。



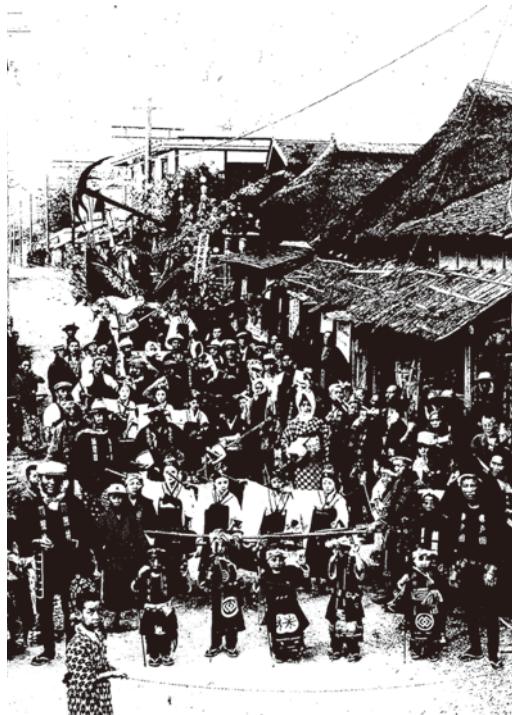
(16) 「黄いろのトマト」と御旅屋

これもまた、御旅屋を舞台にしたと考えられる作品です。

ペムペルとネリという二人きりで生活している兄妹の物語で、町に「大きな灰色の脚」をもった家のよう生き物が来ており、それを見たくて天幕に行ってみると黄色いもの(実はお金)を渡して入場しているのがわかりました。そこで二人は家の黄色いトマトをもってゆきますが、もちろん入ることはできず、トマトを投げつけられて泣きながら帰るという可哀想な話です。

この家のような生き物は象で、花巻のお旅屋でサーカス小屋の象が人気を集めたことがあったのを踏まえた物語でしょう。幼いころ御旅屋に行った想い出と結びついて生まれた作品ではないでしょうか。

賢治は、お祭りが好きで、黄色という色も好んでいました。花巻まつりの山車につける大きな造花は、赤と白だけだったのですが、これに黄色いものを加えるようになったのは、賢治のアイディアによる、といわれております。



大正13年の花巻祭りの吹張町の山車



黄色い造花もある花巻まつりの山車
「写真提供:花巻観光協会」

もう一言

二人きりの兄妹という設定は「グスコーブドリの伝記」にも出てきますね。賢治は妹トシと過ごした幼年時代を思いつつ作品にしたのでしょう。賢治は羅須地人協会時代、トマトを自ら栽培していました。

この話は、剥製のハチドリが昔見たことを語ったという設定です。すると、賢治は花巻に南アメリカを重ねて物語を作ったのですね。

(17) 「注文の多い料理店」と精養軒跡



東京から来たハンターの2人が、山の中で「山猫軒」という料理店を見つけて入りますと、いろいろな注文を店側から受けます。驚いたことにそこは、山猫たちが人間を誘いこんで料理してしまおうという店だったのです。

その店のモデルは、街から離れた洋館の北上市更木「中村邸」だという意見もありますが、ここは民家ですから他にも料理店のモデルがあったはずです。それは、花巻の仲町にあった「精養軒」であろうと思われます。

下に童話の中の山猫軒の看板と花巻駅付近にあった旧岩手軽便鉄道駅舎二階の精養軒支店の看板とを並べてみました。よく似ていますね。同じような看板が本店にもあったようです。賢治の訪れた精養軒の仲町の本店がモデルのひとつとみてよいでしょう。(なお、賢治の時代の看板は右横書が多く、左横書は少なかったのです。)

RESTAURANT
西洋料理店
WILDCAT HOUSE
山 猫 軒



(『広がりゆく賢治の宇宙』より)

RESTAURANT
西洋御料理
精養軒支店

看板の文字



精養軒の写真です。ドアの所に上と似たような看板があります。昭和13年頃の精養軒『非常時岩手の展望』より



古い花巻の街並み、長屋の向こうに精養軒が見える

絵はがき
花城高台より川口町を望む
(花巻市博物館蔵)



(18) 「銀河鉄道の夜」と時計店跡



ジョバンニは家で夕食をとったあと、母親の飲む牛乳が配達されていなかったので、それをとりに出かけます。その途中、ちょうどケンタウル祭で賑わう街で彼が見入ったのは「時計屋の店には明るくネオン燈がついて」星座早見盤を中心に宝石が星のようにまわったり、銅の人馬(ケンタウルス)などの星座キャラクターがまわってきたりしているショーウィンドウでした。

この時計店のモデルは上町にあった荻野時計店であるといわれています。時計店はもちろん明治以降に生まれた商売で、ハイカラで高価なものを扱う、庶民にはまぶしいような店が多かったのです。ジョバンニが見とれたのも当然です。ただし、花巻の街には時計店は他にもあり、賢治が小原時計店のショーウィンドウを眺めていたという話もあり、複数のモデルがあったかもしれません。



現在は、面影が残っていない荻野時計店跡
(もっと西に店舗がありました)



荻野時計店 『花巻市展望』より



昭和13年の荻野時計店
『非常時岩手の展望』より
(ショーウィンドウがあり、右横書きの看板名が掲げられている)

蛇足

このショーウィンドウの中に飾られたものの中に星座早見盤が出てきます。それは夢の銀河鉄道の車中では、カムパネルラの持つ地図として登場します。銀河鉄道の旅と街とを結びつけるこの時計店のショーウィンドウをぜひ再現して、賢治の街の名所の一つとしたいものです。



(19) 「銀河鉄道の夜」(初期形)と賢治の広場



「銀河鉄道の夜」には、現在読まれている、いわゆる“最終形”的ほかに、“初期形”と呼ばれる少し違った物語もあります。その中にケンタウル祭の夜には「みんなが町の広場に集まって一緒に星めぐりの歌をうたつたり」とするとあります。この広場にジョバンニは行かなかったので、その場所を推定する手掛かりはありません。もし、当時の花巻にそのモデルとなった所を探せば、次に述べる御旅屋か、花巻駅前か、あるいは馬検場か、などと考えられます。しかしヨーロッパの広場が町の中央にあることが多いことを考えれば上町か四日町あたりに広場があるように賢治はイメージしたのでしょう。でもそこに実際には広場はありません。もしも広場があったなら、と想像して、建物に広場の名のついた「賢治の広場」「まちなかビジターセンター」(上町)あたりと考えて見るのも面白いでしょう。



賢治の広場

星めぐりの歌 ♪宮澤賢治

♪
あかいめだまの さそり
ひろげた鷺の つばさ
あをいめだまの 小いぬ、
ひかりのへびの とぐろ。

オリオンは高く うたひ
つゆとしもとを おとす、
アンドロメダの くもは
さかなのくちの かたち。

大ぐまのあしを きたに
五つのばした ところ。
小熊のひたいの うへは
そらのめぐりの めあて。



蔵を利用した
まちなかビジ
ターセンター



物語に出てくるジョバンニの街の各地点のなかでモデルとなった場所を花巻の街の中に見つけるのが難しいものは、この広場以外にもいろいろあります。ジョバンニの家、牛乳屋(牧場とも)、天氣輪の柱の丘……などです。さああなたも探してみませんか？

(20) 「銀河鉄道の夜」と電気会社跡



ジョバンニが街をゆくと、ケンタウル祭りの飾り付けが美しく「電気会社の前の六本のプラタナスの木などは、中に沢山の豆電燈がついて、ほんたうにそこらは人魚の都のやうに」見えたというのです。



現在は、マンションの敷地に変わった電気会社跡

大正元年11月に初めて花巻町に電気が供給された時の会社名が花巻電気会社でした。その会社の役員として社長に次ぐ、ナンバー2の取締役は母方の祖父宮沢善治、監査役には父・政次郎が加わっており、いわば身内の会社のように賢治は感じていたでしょう。

のちに、盛岡電気会社に合併、さらに盛岡電灯と改称、奥羽電灯に併合し、現在は東北電力……と変遷しました。

最初の名前の「電気会社」が通称となりましたが、時には電燈会社と呼ばれたこともあります。



裏手(西側)の大堰川には、プロムナードや風情のある橋が造られています。



もう一言

大正元年、賢治が盛岡中学校4年生の時、ようやく花巻に電燈がともったのですが、それでも岩手県では盛岡に次ぐ二番目でした。どんなに感動したかが、賢治の作品からもわかります。感動といえば、賢治はアンデルセンの童話が好きでしたが特に人魚姫に感動したようです。



(21) 「税務署長の冒険」と税務署跡

ハーナムキヤ(つまりモデルは花巻)の町の税務署長が主人公の物語です。

ユグチュユモト村で彼は濁酒(ドブロク)密造などすぐ見当がつくと脅しのような講演をしますが、村民は少しも恐れる様子はなく、その後の宴会ででた清酒のこの辺で市販される酒とは違う匂いに疑問をもちます。

そこで部下のシラトリキキチに調査させるとやはり怪しい。で、署長自ら変装して乗り込み、村ぐるみの密造所を突きとめましたが、密造者たちに捕えられます。結局は助けられるのですが、これは大正12年に花巻税務署員の白鳥永吉が花巻税務署管内の和賀郡の湯本温泉付近で取締り中に殴られて捕まり、のち救助されたという事件をモデルに書かれています。部下を危険な目に合わせず、署長自らが犠牲になる、というこの物語には賢治独特の皮肉がこめられているのでしょうか。賢治のころの花巻税務署は前のページの電気会社跡の斜め向いの駐車場あたりにありました。密造は、個人が濁酒を作る、というのが普通ですが、この話では、村ぐるみの組織が清酒を作る、という意外性に富む話になっています。



建て替えられ賢治の親族が暮らす宮沢賢治の生家

今は、駐車場になってしまった当時の花巻税務署跡。
この前の道「館小路」は、賢治が生家から稗貫農学校に通う際に
よく通ったようです。

もう一言

花巻をもじった名前には「毒蛾」のハームキヤや「四又の百合」のハームキヤがありますが、このハーナムキヤが一番ハナマキに近く私(米地)は好きです。好きな名前といえば、この作品にててくる酒の銘柄に「イーハトヴの友」というのがあります。いい名前ですね。酒をあまり飲まず、禁酒主義者と思われがちな賢治が、酒の名にイーハトヴとつけたというのは飲ん兵衛には嬉しいことです。



(22) 「毒もみの好きな署長さん」と花巻警察署跡



四つの川が集まるプハラの町の警察署長の主人公で、その警察のいちばん大事な仕事は毒もみ、つまり毒を使って川や沼の魚をとることを取締ることでした。そこへカワウソに似た新しい署長が着任しますが、洪水でできた沼での毒もみは続き、どうとう犯人がわかります。何と署長自身が犯人で、自ら認め死刑になります。首を切られる時に笑ってこういいます。「あっ面白かった。おれはもう毒もみのことときたら、全く夢中なんだ。いよいよこんどは地獄で毒もみをやるかな。」で賢治は「みんなはすっかり感服しました。」と話を結んでいます。

プハラは現在のウズベキスタンのブハラをもじったものと思われますが、四つの川(北上川・猿ヶ石川・瀬川・豊沢川)の合流する花巻がモデルで、水の中で死ぬことを「アップカップ」というなどと、この地方の方言も使っていました。賢治の時代の花巻警察署は吹張町の南端、上町通りの西の突き当たりにありました。この警察署の南西方が鍛冶町で、賢治の母イチさんの実家もありました。



賢治は豊沢川下流が氾濫してできた沼で魚をとったことがあったか、見聞きしたことをモチーフにしたのでしょう。

川での毒もみは「風の又三郎」にも出てきますし、賢治は子ども達の遊びの一つとして、強い関心を持っていました。

この話はまた、絶滅しそうなカワウソを賢治が哀れに思って書いた物語かもしれません。

当時の「花巻警察署」
『写真集明治・大正・昭和花巻』より



賢治うぶ湯の井戸
賢治母方の実家で、ここで生まれ、この井戸の水がうぶ湯となりました。
後ろの人物は、所有者で、賢治の母の実家の現在のご当主「宮澤啓祐」氏
※現花巻商工会議所会頭

もう一言

賢治は花巻警察署に来た新任巡査が何か不都合をして首を切られた(つまり免職させられた)ことに同情して、何くれと助けてやったことがあります。

若い部下の話を署長に置きかえたのは前の頁の「税務署長の冒険」の例と似ていますね。





(23) 「銀河鉄道の夜」と小学校跡

有名な「銀河鉄道の夜」は主人公のジョバンニが午後の授業で天の川について学ぶ場面から始まります。このジョバンニの学校は、賢治の卒業した花巻尋常小学校がモデルと考えられます。そのことは次の活版所との位置関係からもわかります。

そしてこの小学校は「銀河鉄道の夜」の物語の始まりであるばかりか、実は賢治の心にこの物語へと育つ“芽ばえ”を与えた所です。それは四年生の担任八木英三先生が子供たちに童話を読み聞かせ、感銘を与えたからです。



花城尋常小学校の記念碑



花城小学校跡の石標



絵はがき 花城尋常小学校 校門に「花巻夜間中学」の標札
(花巻市博物館蔵)



もう一言

「花城小学校跡」という石標は花巻市役所第2駐車場の東側に立っていますが、この碑の位置では次の頁のような「三つ」曲がることなりません。

この位置よりも、もっと北に小学校の昇降口がありました。



(24) 「銀河鉄道の夜」と活版所跡

授業が終わると「家へは帰らずジョバンニが町を三つ曲がってある大きな活版処に入って」そこでアルバイトの活字を拾う仕事をします。6時少しすぎに仕事が終わり日当をもらうとそれでパンなどを買い、病気の母親の待つ家に帰ります。

そう遠くもない活版所に行くのに三度も町角を曲がるのが面白いので、賢治はわざわざこう書いていたのです。花城小学校はお城の中にありましたから、敵が攻め込みにくいようにカギ型に曲げた道を通らねばならず、そこで2回曲がります。モデルと考えられる大正活版所は、そのころ相生街として新しくできた道路に面していたために、もう1回曲り、合計3度も曲がったのです。この活版所の跡は現在、照井菓子店になっています。



『春と修羅』印刷所跡の石標



旧活版所跡の建物が菓子店に変わった「照井菓子店」と店先の石標



『春と修羅』初版本の箱と表紙
(宮沢賢治記念館蔵)

もう一言

この活版所は賢治の詩集『春と修羅』を印刷した所で、賢治も活字を拾うのを手伝ったり、本店のような形だった盛岡の山口活版所(現山口北州印刷)に活字を探しに行ったりしました。その経験が作品に活かされています。

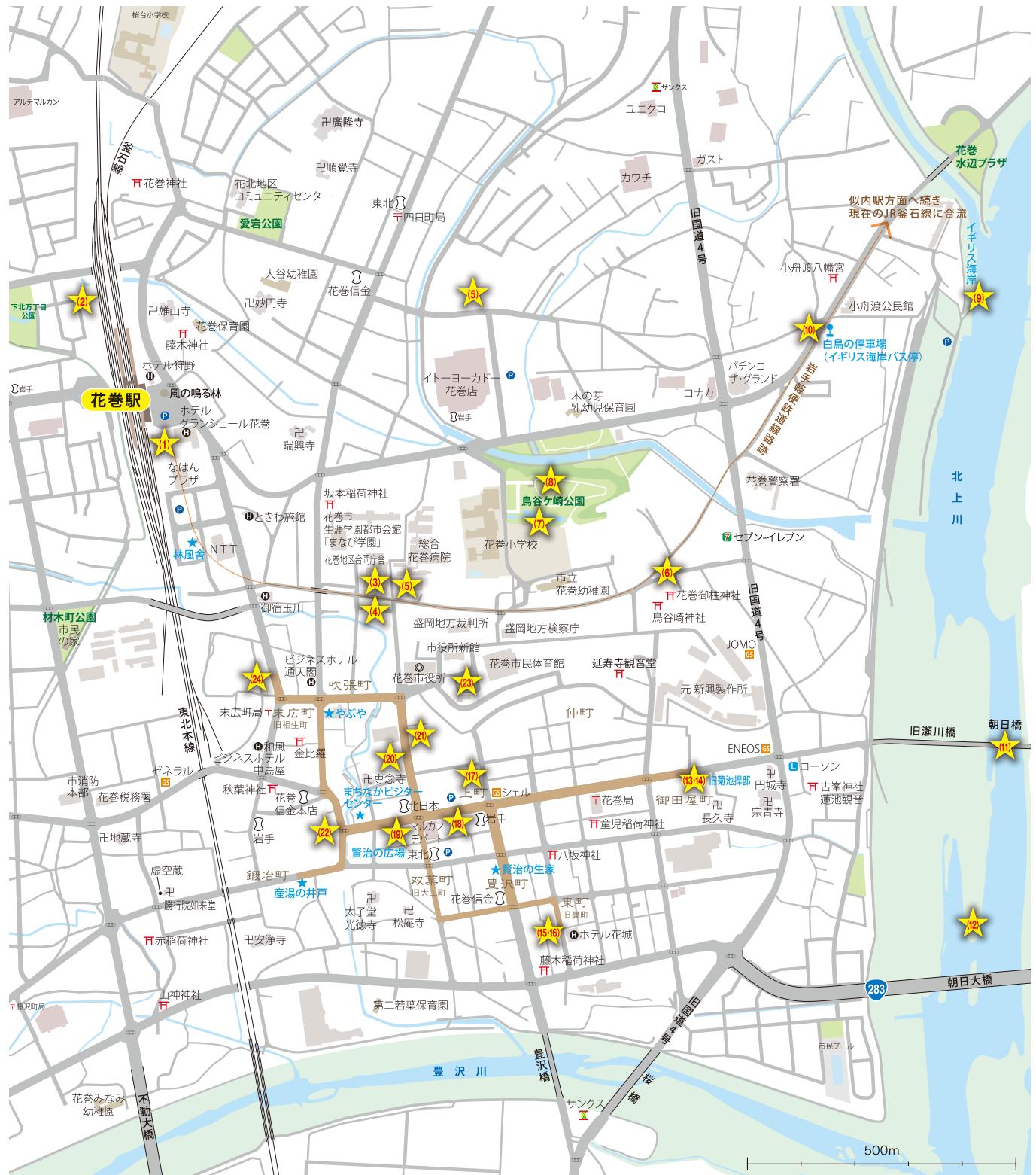


昭和初期の花巻中心市街地とその周辺



地図上の花巻電灯会社は正式には花巻電気会社、明円寺⇒妙円寺 馬検所⇒馬検場 小船渡⇒小舟渡の誤植
(花巻市博物館蔵)

現代の花巻中心市街地とその周辺



※(1)～(24)は、賢治メルヘンの舞台となった場所です。

宮沢賢治関連年表

西暦		賢治関連出来事	摘要	その他の出来事
1896	明治29年	8月27日(戸籍上は1日)稗貫郡花巻川口町に誕生	父:政次郎(22)、母:イチ(19)	三陸大津波、陸羽地震
1903	明治36年	町立花巻川口尋常小学校入学 (在学中に花城小学校と改称)		東北地方大飢饉
1909	明治42年	県立盛岡中学校入学	寄宿舎生活	
1912	明治45年 大正元年	松島方面修学旅行	花巻に電燈がつく	タイタニック号沈没 石川啄木没
1913	大正2年	盛岡中学校5年生	舍監排斥運動で4年・5年全員退寮	
1914	大正3年	盛岡中学校卒業	家業の手伝い 花巻在住	第1次世界大戦勃発
1915	大正4年	盛岡高等農林学校主席入学 主任教授関豊太郎に師事	岩手軽便鉄道開通	
1917	大正6年	特待生 旗手、級長	同人誌「アザリア」発刊	ロシア革命
1918	大正7年	盛岡高等農林学校卒業	高農研究生	第1次世界大戦終結 シベリア出兵
1921	大正10年	無断上京 12月 郡立稗貫農学校教諭となる		原敬暗殺
1922	大正11年	妹トシ24歳で病没	『精神歌』『飢餓陣営』『イギリス海岸』『牧歌』『山男の四月』『永訣の朝』創作	シベリアから撤兵 (北サハリン駐屯継続)
1923	大正12年	稗貫農学校が県立花巻農学校となる	『やまなし』『氷河鼠の毛皮』『シグナルとシグナレス』等の発表	花巻温泉開業 関東大震災
1924	大正13年	生徒と北海道修学旅行 生徒達による演劇上演	詩集『春と修羅』、童話集『注文の多い料理店』発刊	
1925	大正14年	学校を辞めて百姓になること決意	東北大早坂博士とイギリス海岸発掘調査	普通選挙法公布 治安維持法公布
1926	大正15年 昭和元年	花巻農学校退職 羅須地人協会設立	『農民芸術概論』『オツベルと象』『ざしき童子のはなし』『猫の事務所』等創作	郡役所廃止
1927	昭和2年	花巻温泉「南斜花壇」造園	さまざまな作品創作	
1929	昭和4年	病臥(前年夏以来)	文語詩創作を始める	花巻川口町と花巻町が合併
1931	昭和6年	東北碎石工場技師委嘱 9月 上京発熱 遺書を書く	『北守將軍と三人兄弟の医者』発表 『雨ニモマケズ』書く	満州事変勃発 東北冷害
1932	昭和7年	病臥療養中	童話『グスコープドリの伝記』他各種作品発表	上海事変 満州国建国
1933	昭和8年	9月21日永眠(37歳)	各種作品発表	三陸大地震津波

おわりに、

おわりに

このささやかなガイドブックは、花巻の街を賢治が歩きながら何を眺め、どのような物語を考えていたのか、それを偲ぶ手掛かりを集めてみたものです。

内容は平成22・23年度の「賢治・星めぐりの街づくり」公開フォーラムのべ14回と、「大震災救援チャリティセミナー」1回とにおける米地の講演を基にしました。

まだ書きもらした物語もありますし、とりあげた地域も市域のごく一部です。内容的にももっと充実させていこうと思いまますので、皆さまのご意見をお寄せいただければ幸いです。

この小冊子を作るに当たって、多くの方々からの御教示やご協力をいただき誠にありがとうございました。参照しました資料や文献も数多く、それらを掲げるべきなのですが、紙幅の都合でほとんど省略したことをおゆるしください。なかでも、花巻の方々が作られた次の二点は特に参考になりましたので、記しておきます。

『はなまき・まちなか散歩』
街並みウォッチング調査委員会
平成15年編集・発行

『賢治のイーハトーブ花巻 ゆかりの地ガイドブック』
宮沢賢治学会・花巻市民の会篇、猫の事務所
平成8年初版発行 平成16年改訂三版

なお賢治作品の引用は原則として『新校本宮澤賢治全集(筑摩書房)』によりました。

写真・資料等の主な出典

『写真集明治・大正・昭和花巻』
熊谷章一篇、国書刊行会、昭和55年

『目で見る花巻・北上・和賀・稗貫の100年』
監修 鎌田雅夫、郷土出版社、平成13年

『拡がりゆく賢治の宇宙—19世紀から21世紀へ—』
宮沢賢治イーハトーブ館、平成9年

『花巻・北上・遠野・西和賀の今昔』鎌田雅夫 監修
郷土出版社、平成22年

『花巻市展望』岩手民報社、岩手民友新聞社発行

『非常時岩手の展望』岩手タイムス社 昭和13年

林風舎

花巻市観光課

(社)花巻観光協会

宮沢賢治記念館

花巻市博物館

岩手県立図書館

写真・資料等ご提供のお願い

賢治・星めぐりの街づくり推進協議会では、賢治の活躍した時代の花巻を紹介するために当時の様々な写真や資料を探しています。お借りした写真や資料は、可能な限り協議会ホームページやこれから作成する印刷物などに活用、紹介させていただきます。

□主な執筆協力者

木村 清且 大畠 政夫 秋山 潔

賢治メルヘンの街・花巻 ガイドブック

著作・監修 米地 文夫
(ハーナムキヤ景観研究所所長)
岩手県立大学名誉教授

発行 平成24年1月31日

花巻商工会議所

賢治星めぐりの街づくり推進協議会

岩手県花巻市花城町10-27 TEL.0198-23-3381

※このガイドブックは(財)いわて産業振興センター
平成23年度いわて希望ファンド活性化事業(中心
市街地活性化事業)を活用して制作しました。

※無断転記、転載を禁じます。

賢治・星めぐりの街 Q&A

イーハトヴの
呼び名について

イーハトヴは
理想郷か

星めぐりについて

Q イーハトヴ、イーハトブ、イーハトーヴ、イーハトーブ、イーハトーヴォ、イーハトーボ等いろいろあるが、どれかに統一できませんか？

A できません。賢治自身がさまざまに使っており、作品によって違います。花巻ではイーハトーブとする場合が多いようですが、賢治が最初に用い、断続的に使い続けて使用回数も最も多いイーハトヴを使う人が最近では増えています。

Q イーハトヴは“理想郷”といってよいですか？

A ドリームランドではあるが“理想郷”とは必ずしも言えません。冷害や火山噴火などの災害もあり、人さらいや酒の密造など犯罪も起こり、戦争もあります。

Q 星めぐりとは銀河鉄道の旅のように星座をめぐることですか？

A その意味もありますが、北極星を中心に夜空を星がめぐるというのがもともとの意味です。

(文責 米地)

米 地 文 夫

(賢治・星めぐりの街づくりフォーラム講師・岩手県立大学名誉教授)